

平成 26 年 11 月 25 日

神経内科医および難病医療に従事する医師の皆様へ

## 「平成 26 年度神経難病緩和ケア研修会」開催のご案内

神経難病患者は発症したときから身体的、精神的、社会的、スピリチュアルに苦痛を伴うことより神経難病の診療そのものが緩和ケアといえます。そのため、単に治療の技術的側面のみならず、緩和ケアを意識して治療にあたるべきでありますが、その教育の機会や手段は限られています。

今回、教育方法のひとつとして緩和ケア研修会を計画しました。本研修会を通して神経難病緩和ケアの普及を目的としています。

緩和ケアは倫理的側面も強いいため、知識偏重の座学では体得するのは難しいと思われます。そのため、本研修会は 2 日にわたって中心的課題それぞれにスモールグループディスカッション (SGD) やロールプレイなどを組み合わせて参加者がお互いに研鑽しあう内容とし、そのうえで知識や考え方を補充するためのレクチャーを行う構成としています。また、参加者から悩んだ症例を提示してもらい検討するなど経験豊富な講師陣と直接触れ合える場を設定しアドバイスや討論を予定しています。

**日 時** 平成 26 年 12 月 27 日 (土) 10:30~19:00 (受付 10:00~)  
19:00~20:30 情報交換会 (会費制)  
平成 26 年 12 月 28 日 (日) 9:00~17:00 (終了時間は 16 時~17 時を予定)

※情報交換会は原則ご参加ください。会食しながらタスクフォースや参加者の皆様とお話する良い機会になると思います。

**場 所** 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール  
〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1 Tel.086-276-3231/Fax.086-274-1028  
(岡山駅よりバスで約 20 分、旭東病院前下車徒歩 1 分)

**中心的課題**

1. 診断告知 ALS を例として (患者医師関係について・難病の告知について)
2. 嚥下障害への医療介入 胃瘻について (自己決定について)
3. 呼吸障害への医療介入 人工呼吸器について (事前指示について・差し控えと中止について)
4. 終末期への対処 (モルヒネ等の使い方・鎮静について)

### 講師・ファシリテーター

板井孝孝郎 (宮崎大学医学部臨床倫理学)  
稲葉 一人 (中京大学法科大学院法務研究科生命倫理学)  
植竹 日奈 (まつもと医療センター中信松本病院相談支援センター)  
荻野美恵子 (北里大学医学部神経内科学)  
成田 有吾 (三重大学医学部看護学科)  
難波 玲子 (神経内科クリニック難波)  
三浦 靖彦 (慈恵医大柏病院総合診療部)  
他

※詳細な時間等当日変更の可能性がります

**対 象** 神経内科医および難病医療に従事する医療者 (定員 40 名)

(本研修会は医師向けプログラムのため、2 日間ともご参加いただける医師の方を優先させていただきます。定員に余裕がある場合には他の医療職・介護職等の方にもご参加いただけます。)

**参加費** 5000円 (二日間の昼食代を含む)

**情報交換会費** 3000円

\*申し込み後、確認と振込先のご連絡を e-mail にてお送りしますので、5000円または8000円をお振込下さい。

\*テキストは前もって pdf ファイルでお送りします。各自プリントアウトして2穴の穴をあけ、ご持参ください。

\*バインダーおよびレクチャー資料、ロールプレイ用シナリオは当日配布いたします。

**申込方法** 申込書にご記入のうえ、E-mail またはファックスにてお申込ください。

申し込み締め切り **12月20日(土曜日)**

定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ先： 神経難病緩和ケア研修会事務局

荻野美恵子

〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台 2-1-1

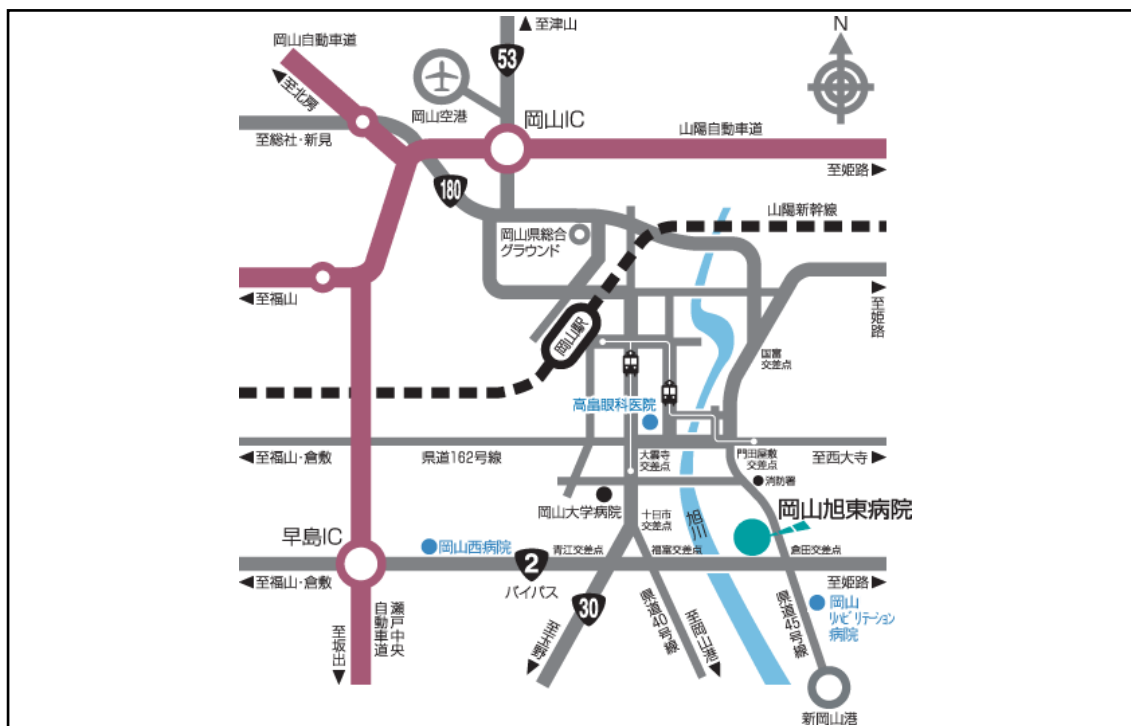
北里大学医学部附属新世紀医療開発センター

横断的医療領域開発部門 全人医療学

TEL 042-748-9111

FAX 042-746-8082

E-mail kanwakea@kitasato-u.ac.jp



車でのアクセス

- 岡山空港から・・・約40分
- 岡山駅から・・・約20分(約5km)
- 早島ICから・・・約20分
- 新岡山港から・・・約15分

岡山駅から タクシー約5km、バス(岡山駅バス乗り場 1番 旭東病院前下車)